



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月3日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東  
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括部長兼財務部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024(545)2215  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月4日 配当支払開始予定日 平成24年10月29日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	19,570	1.0	689	△48.7	675	△49.8	430	15.9
24年2月期第2四半期	19,377	17.4	1,342	533.5	1,345	780.2	371	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 423百万円(15.3%) 24年2月期第2四半期 366百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	59.35	—
24年2月期第2四半期	57.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	25,471	4,723	18.5
24年2月期	24,155	3,554	14.7

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 4,717百万円 24年2月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	9.00	—	11.00	20.00
25年2月期	—	10.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,400	△3.4	1,430	△28.0	1,370	△30.4	750	81.0	100.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※通期の連結業績見通しについては、現段階では上記の連結業績予想に重要な変更はありません。なお、1株当たり当期純利益につきましては、4月に行った公募及び第三者割当による新株式発行により増加した株式数の期中平均株式数を考慮した7,494千株を基に算出しております。詳細は添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期2Q	7,734,000株	24年2月期	6,434,000株
25年2月期2Q	117株	24年2月期	76株
25年2月期2Q	7,253,122株	24年2月期2Q	6,433,942株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年2月21日から平成24年8月20日まで）におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興関連需要等により一部で景気持ち直しの動きが見られたものの、一方で、欧州債務危機問題に起因する海外経済の減速等によりアジア向け・新興国向け等の輸出が低迷し、国内生産活動も落ち込んでいる中で、歴史的な円高水準の長期化も相まって国内景気は足踏み状態に入り、先行き不透明な状況に陥っています。また、企業も収益確保に厳しさを強いられており、雇用情勢は依然厳しく、個人消費は、生活防衛意識の一層の高まりやデフレ傾向の長期化により、低価格志向の節約消費が継続している状況にあります。

このような状況のもと、4月に財務基盤安定化を図る目的で公募及び第三者割当による新株式を発行し、資本増強を行いました。新規出店としましては、ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は3月に須賀川店（福島県）、6月に多賀城店（宮城県）を2店開設するとともに、自転車専門店「One's cycle」は草加店、八潮店、川口店の3店を開設し、初めて埼玉県に進出いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、80店舗（食品スーパー部門はホームセンター店舗数に含めております）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は195億7千万円（前年同期比1.0%増）、連結営業利益は6億8千9百万円（同48.7%減）、連結経常利益は6億7千5百万円（同49.8%減）、連結四半期純利益は4億3千万円（同15.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [ホームセンター事業]

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客単価が前年同水準（前年同期比0.0%）でしたが、客数が同1.2%減少した結果、既存店売上高は同1.2%減少しました。

既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は低温のため灯油販売高が大きく伸びましたが、利益率としては押下げ要因でありました。また、昨年売上を大きく伸ばした木材・金物・作業用品等や日用品・家庭用品・収納用品・インテリア・家電製品等の生活必需品は、家屋等の復旧・修繕や避難のための転居や仮設住宅入居等に伴う需要がほぼ一巡し、売上高は前年対比で減少しました。しかしながら、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能災害の発生以降販売不振であった園芸用品や植物が、今年に入り除草剤・園芸用土・花苗・鉢花といった商品を中心に売れ行きを回復し、また転居に伴う復興需要が続いていることから、物置等エクステリア関連商品の販売が順調でした。梅雨明け後は高温少雨の天候が続いたため、よしず・すだれ・網戸・ミネラルウォーター等の避暑対策商品の売上が好調でした。さらに、昨年震災の影響で売れ行きが低調だった切り花・ビール・ギフト等の季節商品が伸びました。

一方、セグメント利益につきましては、前年東日本大震災により自粛した広告宣伝費が平常ベースに戻り（前年同期比15.4%増）、また節電対策及び長期的なコスト削減を図る目的でホームセンター計25店舗の照明を発光ダイオード（LED照明）に切り替え、2億2千5百万円全額費用計上しました。これらの要因によりセグメント利益（営業利益）が大きく減少しました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は163億9千1百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益（営業利益）は10億3千1百万円（同37.3%減）となりました。

[不動産事業]

不動産事業における売上高は4億2百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1億4千6百万円（同9.0%減）となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第2四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

[その他]

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業の新規出店等により33億6千3百万円（前年同期比18.5%増）、開店一時費用等の増加によりセグメント損失（営業損失）は7千8百万円（前年同期はセグメント損失4千8百万円）となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億1千5百万円増加し、254億7千1百万円となりました。この主な要因は、新株式の発行等による株主資本の増加等に伴う現金及び預金の増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億4千6百万円増加し、207億4千7百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加等でありませ

ず。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11億6千9百万円増加し、47億2千3百万円となりました。この主な要因は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行による資本金及び資本準備金の増加、ならびに利益剰余金の増加であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億3百万円増加し、25億4千2百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、7億5千7百万円（前年同期は26億3千1百万円の資金の獲得）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益7億3千5百万円、減価償却費3億8千9百万円、仕入債務の増加2億5千6百万円、損害賠償金による収入3億8千4百万円等により資金が得られましたが、売上債権の増加6千3百万円、たな卸資産の増加3億4千9百万円、法人税等の支払額5億6百万円等により資金が使用されたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、6億5千5百万円（前年同期は1億6千万円の資金の使用）となりました。

この主な要因は、投資有価証券の取得による支出4千4百万円、店舗の新築に伴う有形固定資産の取得による支出4億1千5百万円、新規出店に係る敷金及び保証金の差入による支出2億3百万円等により資金が使用されたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は、12億2百万円（前年同期は13億3千8百万円の資金の使用）となりました。

この主な要因は、短期借入金の純増額6億6千2百万円、長期借入れによる収入11億円、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行に伴う株式の発行による収入8億1千6百万円等で資金が得られた一方、長期借入金の返済による支出11億6千1百万円、社債の償還による支出5千5百万円、配当金の支払額7千万円等により資金が使用されたことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しについては、現段階では重要な変更はありません。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により増加した発行済株式数の期中平均株式数を考慮した7,494千株を基に算出しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項は有りません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項は有りません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項は有りません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,455,273	2,765,840
売掛金	226,114	289,738
たな卸資産	6,145,489	6,494,926
その他	925,755	460,658
流動資産合計	8,752,631	10,011,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,041,072	15,212,656
減価償却累計額	△7,109,216	△7,374,058
建物及び構築物(純額)	7,931,856	7,838,597
土地	2,038,936	2,038,936
リース資産	750,393	813,642
減価償却累計額	△249,283	△329,388
リース資産(純額)	501,110	484,254
その他	416,805	428,795
減価償却累計額	△253,424	△260,875
その他(純額)	163,380	167,919
有形固定資産合計	10,635,284	10,529,707
無形固定資産		
のれん	147,543	112,258
その他	1,178,479	1,168,384
無形固定資産合計	1,326,023	1,280,643
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,158,021	2,323,002
その他	1,302,816	1,345,796
貸倒引当金	△18,990	△18,990
投資その他の資産合計	3,441,847	3,649,809
固定資産合計	15,403,155	15,460,159
資産合計	24,155,786	25,471,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,785,206	6,041,772
短期借入金	1,835,000	2,497,000
1年内返済予定の長期借入金	2,164,446	2,186,470
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	178,177	191,459
未払法人税等	524,084	267,037
その他	1,885,393	1,513,377
流動負債合計	12,482,307	12,807,116
固定負債		
社債	325,000	270,000
長期借入金	5,360,553	5,277,133
リース債務	429,102	388,298
長期預り敷金保証金	1,215,597	1,198,234
退職給付引当金	193,417	204,183
役員退職慰労引当金	282,387	289,732
資産除去債務	129,588	133,813
その他	182,947	178,920
固定負債合計	8,118,594	7,940,316
負債合計	20,600,901	20,747,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	894,778	1,303,173
資本剰余金	816,287	1,224,682
利益剰余金	1,820,448	2,180,168
自己株式	△42	△74
株主資本合計	3,531,470	4,707,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,624	12,466
繰延ヘッジ損益	△174	△2,705
その他の包括利益累計額合計	17,449	9,760
少数株主持分	5,965	6,182
純資産合計	3,554,884	4,723,891
負債純資産合計	24,155,786	25,471,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	19,377,236	19,570,016
売上原価	13,750,100	13,971,022
売上総利益	5,627,136	5,598,993
販売費及び一般管理費	4,284,181	4,909,720
営業利益	1,342,954	689,272
営業外収益		
受取利息	5,510	5,456
受取配当金	3,971	4,050
受取手数料	58,337	63,940
その他	51,222	30,920
営業外収益合計	119,042	104,368
営業外費用		
支払利息	100,984	88,829
その他	15,533	29,387
営業外費用合計	116,518	118,217
経常利益	1,345,478	675,423
特別利益		
受取損害賠償金	—	56,081
その他	—	8,106
特別利益合計	—	64,188
特別損失		
固定資産除却損	10,233	4,180
災害による損失	497,578	—
災害損失引当金繰入額	100,321	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56,115	—
特別損失合計	664,248	4,180
税金等調整前四半期純利益	681,229	735,430
法人税、住民税及び事業税	389,087	250,900
法人税等調整額	△81,676	53,820
法人税等合計	307,410	304,720
少数株主損益調整前四半期純利益	373,819	430,710
少数株主利益	2,464	217
四半期純利益	371,354	430,493

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	373,819	430,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,502	△5,157
繰延ヘッジ損益	1,487	△2,531
その他の包括利益合計	△7,014	△7,689
四半期包括利益	366,804	423,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,340	422,803
少数株主に係る四半期包括利益	2,464	217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	681,229	735,430
減価償却費	369,027	389,759
のれん償却額	35,285	35,285
災害損失引当金の増減額(△は減少)	100,321	—
災害損失	370,063	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56,115	—
受取損害賠償金	—	△56,081
支払利息	100,984	88,829
受取利息及び受取配当金	△9,481	△9,507
売上債権の増減額(△は増加)	△117,521	△63,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,431	△349,437
仕入債務の増減額(△は減少)	1,009,115	256,565
その他	203,635	△5,465
小計	2,860,207	1,021,754
利息及び配当金の受取額	4,254	4,180
利息の支払額	△95,644	△80,534
保険金の受取額	—	8,106
損害賠償金による収入	—	384,999
法人税等の支払額	△108,427	△506,868
その他の支出	△29,111	△74,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,631,277	757,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△32,000	△44,105
有形固定資産の取得による支出	△114,982	△415,784
有形固定資産の除却による支出	—	△4,180
敷金及び保証金の差入による支出	△9,783	△203,214
敷金及び保証金の回収による収入	47,888	37,552
預り保証金の返還による支出	△45,835	△35,924
預り保証金の受入による収入	4,355	18,562
その他	△9,982	△8,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,339	△655,629

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△753,000	662,000
長期借入れによる収入	800,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,153,814	△1,161,396
リース債務の返済による支出	△68,327	△89,459
株式の発行による収入	—	816,790
社債の償還による支出	△125,000	△55,000
配当金の支払額	△38,557	△70,338
自己株式の取得による支出	—	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,338,699	1,202,564
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,132,238	1,303,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,177,335	1,238,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,309,574	2,542,200

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,804,458	381,841	17,186,299	2,190,937	19,377,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	817	42,876	43,693	646,493	690,186
計	16,805,275	424,717	17,229,992	2,837,430	20,067,423
セグメント利益	1,644,267	160,577	1,804,845	△48,438	1,756,406

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,804,845
「その他」の区分の利益	△48,438
セグメント間取引消去	15,096
全社費用(注)	△428,548
四半期連結損益計算書の営業利益	1,342,954

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,391,397	378,463	16,769,860	2,800,155	19,570,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	458	23,610	24,068	563,520	587,588
計	16,391,855	402,073	16,793,929	3,363,675	20,157,605
セグメント利益	1,031,567	146,166	1,177,733	△78,599	1,099,133

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、リフォーム事業、ハーブ・花・苗事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,177,733
「その他」の区分の利益	△78,599
セグメント間取引消去	20,294
全社費用(注)	△430,155
四半期連結損益計算書の営業利益	689,272

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「ホームセンター事業」に含めておりましたオフィスサプライ事業、自転車専門店事業を、「その他」の区分に変更しております。これは組織改編に伴い経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う対象を変更したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含めておりました「食品スーパー事業」を、「ホームセンター事業」及び「複合商業施設事業」の区分に含めております。これは、平成24年6月21日付で「食品スーパー事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトフーズを、当社が吸収合併したことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ361,272千円増加しております。また、平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ47,122千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が408,395千円、資本準備金が408,395千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,303,173千円、資本準備金が1,224,682千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。